

FURE I

ふれあい

Kurashiki Riverside Hospital

Vol.65



「椿」油彩 森 美由希

contents

- 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)
- KRH ニュース 寄贈

- 感染情報確認

- 新入職員紹介



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院リバーサイド

理念 「人と人とのふれあい」を大切にし、地域の人々の生命と健康を守ります
基本方針 1. 患者さんが安心で納得できる最良の医療を提供します
2. 全人的な包括的医療を提供します
3. 医療知識、技術の獲得のために日々自己研鑽に努めます

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)

コロナウイルスとは

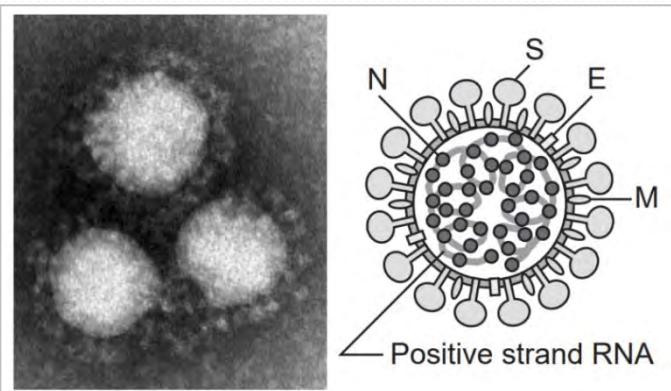
「コロナウイルス」の名称はラテン語の *corona*（コロナ）およびギリシャ語の王冠または光冠（丸い光の輪）、花冠を意味する *κορώνη* (korónē コロネ) に由来します。ヒトに日常的に感染する4種類と動物から感染し重症肺炎を引き起こす2種類が知られてきました。

ヒトに日常的に感染するコロナウイルスは、一般的な風邪の10~15%（流行期35%）の原因とされ、冬季に流行のピークが見られ、多くの感染者は軽症ですみます。

重症肺炎を引き起こしてきた2種類には、重症急性呼吸器症候群コロナウイルス(SARS-CoV)と中東呼吸器症候群コロナウイルス(MERS-CoV)があります。前者は、2002年に中国広東省で発生し、2002年11月から2003年7月の間に30を超える国や地域に拡大しました。コウモリを宿主とするコロナウイルスがハクビシンを介してヒトに感染し重症肺炎を引き起こしたと考えられており、2003年12月時点のWHOの報告によると疑い例を含むSARS患者は8,069人、うち775人が重症の肺炎で死亡しました（致命率9.6%）。後者は、2012年にサウジアラビア発生しこれまでに27カ国で2,494人の感染者がWHOへ報告され（2019年11月30日時点）、そのうち858人が死亡しました（致命率34.4%）。ヒトコブラクダに風邪症状を引き起こすウイルスであるが、種の壁を超えてヒトに感染すると重症肺炎を引き起こすと考えられています。SARS-CoV-2はSARSやMERSの病原体と同じβコロナウイルスに分類される動物由来コロナウイルスと判明していますが宿主はまだ分かっていません。現在はヒト-ヒト感染によって流行が世界に広がっている状況です。

SARS-CoV-2とは

電子顕微鏡で観察されるコロナウイルスは、直径約100nmの球形で、表面に突起が見られます。脂質二重膜のエンベロープの中にNucleocapsid(N)蛋白に巻きついたプラス鎖の一本鎖RNAのゲノムがあり、エンベロープ表面にはSpike(S)蛋白、Envelope(E)蛋白、Membrane(M)蛋白が配置されています（図1）。遺伝学的特徴から α 、 β 、 γ 、 δ のグループに分類されSARS-CoV2は β コロナウイルスに分類されます。



感染経路

一般的には飛沫感染※1、接触感染※2で感染します。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。

※1：感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染すること。

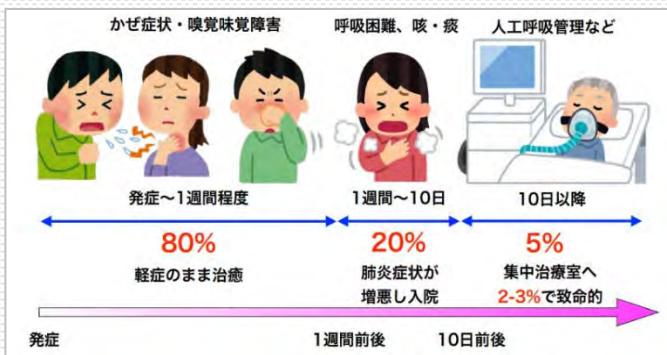
※2：感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触るとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ることにより粘膜から感染すること。

潜伏・感染可能期間

潜伏期は1～14日間であり暴露から5日程度で発症することが多く。発症時から感染性が高い事は市中感染の原因となっている。感染可能期間は、発症2日前から発症7～14日間程度と考えられています。SARS-CoV-2は上気道と下気道で増殖していると考えられ、重症例ではウイルス量が多く、排泄期間も長くなる傾向にあります。

臨床像

多くの症例で発熱・呼吸器症状(咳嗽、咽頭痛、鼻汁、鼻閉など)、頭痛、倦怠感などがみられます。下痢や嘔吐などの消化器症状の頻度は多くの報告で10%未満とSARSやMERSよりも少ないと考えられます。初期症状はインフルエンザや感冒に似ており、この時期にこれらとCOVID-19を区別することは困難とされています。



嗅覚・味覚障害を訴える患者さんが多いことも分かってきており、イタリアからの報告では3割の患者で嗅覚または味覚異常があり、特に若年者、女性に多いとのことです。中国では発症から医療機関受診までの期間は約5日、入院までの期間は約7日と報告され、1週間程度で重症化しさらに重症化する場合は10日目以降に集中治療室に入室という経過をたどる傾向があるとされています。

正確な情報を収集し正しく理解しましょう!!

2009年の新型インフルエンザの時、「未知なるものへの恐怖感は誰もが持っているものであり、特に新たな感染症の発生と侵入という事態に対して国民の多くが恐怖感や嫌悪感を持つに至ったことは当然であると思われる。健康被害を最小限にするために、広く危機意識を高めるために様々な情報が発信・配信されたことは決して誤っているものとは思えない。では何故、新しい未知な感染症に対する恐怖感・嫌悪感からくるストレスが我が国では発病者とその関係者にぶつかるのか？」

今後とも同じことが繰り返され、新たな感染症が国内に侵入した場合、正直に報告することがためらわれることが続していくものと危惧される。」と国立感染症研究所の研究班より報告されました。

行政や医療・感染系学会などのより正確な情報を収集し、正しく理解し、適切に行動しましょう。

○新型コロナウイルス感染症情報。

厚生労働省：https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

厚生労働省 岡山県 倉敷市

岡山県：<https://www.pref.okayama.jp/kinkyu/645925.html>



以下を参考に編集を行っております。

出典：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き

国立感染症研究所ホームページ <https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/9303-coronavirus.html>
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/dl/infu100412-08.pdf>

厚生労働省ホームページ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/dengue_fever_qa_00001.html#Q2-1

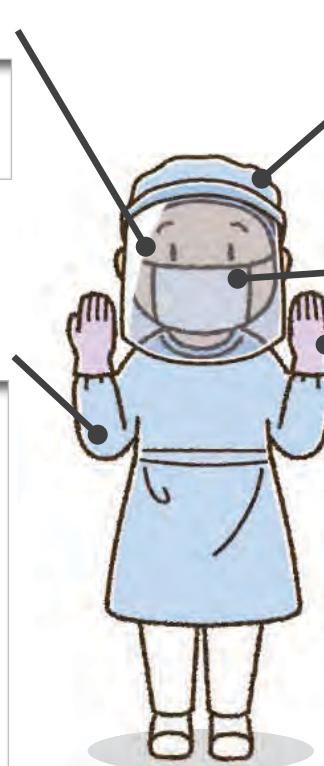
個人防護具 (PPE) とは

フェイスシールド

1. 医療従事者の眼・鼻腔・口腔の粘膜を病原体から護る。

ガウン

1. 医療従事者の衣類や体幹部の皮膚を病原体から護る。
2. 患者さんや物品を医療従事者の衣類に付着している埃や病原体から護る。
※湿性生体物質からの汚染を防御するためには、プラスチック製のガウンやエプロンを着用することが必要。



キャップ

1. 医療従事者の頭部を汚染から護る。
2. 患者さんを医療従事者の頭髪や皮膚の落下による汚染から護る。

サージカルマスク

1. 医療従事者の鼻腔・口腔を病原体から護る。
2. 患者さんや物品を医療従事者が鼻腔・口腔に保菌している病原体から護る。

手袋

1. 医療従事者の手指を病原体から護る。
2. 患者さんを医療従事者の手指に保菌している病原体から護る。

フェイスシールドを寄贈いただきました

武藤工業様・三菱自動車様からフェイスシールドを寄贈いただきました。

武藤工業様は、情報画像関連機器の開発・製造・販売、情報サービス(CAD/CAM)の開発・製造・販売を手掛けられており、2020年5月15日より自社で取り扱う3Dプリンタを活用し、フェイスシールドを製作・医療機関向けに無償提供を開始されています。この支援活動により、当院へもフェイスシールドを無償でご提供いただきました。

三菱自動車様では、クルマの開発および生産で培ったノウハウや工場設備を活用し、世界各国の政府・自治体・関係機関と連携しながら、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて支援を続けくださることです。

ご提供いただいたフェイスシールドを有効に使用させて頂き、職員一丸で新型コロナウイルスに対処させていただきます。武藤工業様・三菱自動車様ありがとうございました。



「きびだんご」を寄贈いただきました

廣榮堂様よりきびだんごを寄贈いただきました。

廣榮堂様は、岡山名物「きびだんご」と共に150年。岡山県に本社を置く地元企業様です。むかし吉備団子、元祖きびだんごをはじめとして、美味しい和菓子を、手づくりの技と心を込めて伝えられておられます。

“コロナ禍の中、医療の最前線で戦っている病院関係者に、地元企業としてエールを!!”という思いから様々な活動をされており、その一環として、倉敷『わが街健康プロジェクト』を通じ「きびだんご」をご寄贈されています。この度当院へも「きびだんご」をご寄贈していただきました。

とても美味しくいただき明日への活力とさせて頂きました。廣榮堂様ありがとうございました。



「愛の車いす」を寄贈いただきました



1月23日(木)、車いす1台を贈呈していただきました。

昨年、岡山県内のヤクルト販売株式会社3社様、ヤクルト販売店親交会様、ヤクルトビューティの会様による「令和元年度 第46回ヤクルト・チャリティーセール」が行われました。そして、その収益金により「愛の車いす」1台を、倉敷中央病院リバーサイドにご寄贈いただきました。

「愛の車いす」は、外来、病棟にて、大切に使わせていただきます。

このたびは、大変ありがとうございました。

総務・管理G 福本 和美

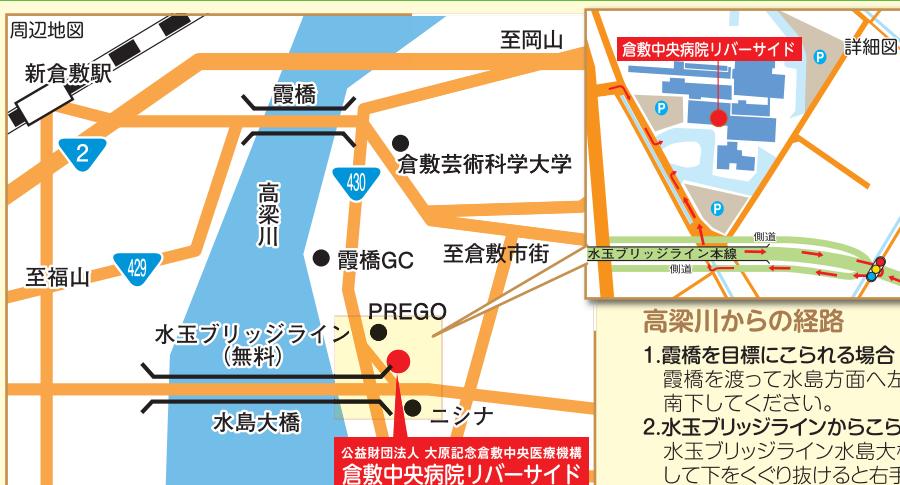
外来診療のご案内

科	受付時間	月	火	水	木	金
内科	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~)	○	○	○	○	○
	午後 13:30~16:00 ●予約制		●	●	●	●
循環器内科	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~)	○	○	○	○	○
	午後 13:30~16:00 ●予約制	●	○	●	●	○
神経内科	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~) ●予約制	●	●			●
	午後 ●予約制			●		
呼吸器外科	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~)		○		○	
	午後 14:00~16:00		○		○	
外科	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~)	○	●※II	○	●※III	
	午後 14:00~16:00					○
緩和ケア外来	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~)					○
整形外科	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~)	○	○	○		○
小児科	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~)	○	○	○	○	○
	午後 13:30~15:00	●※I	●	●※VII		●
眼科	午後 15:00~16:00		●	○	○	
	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~)		●	○	○	
リハビリテーション科	午後 14:30~17:00			○		
放射線科	午後 14:30~16:00	○			○	
耳鼻咽喉科	午後 13:30~16:00			○		
	午後 14:30~16:30	○				
歯科	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~) ●予約制	●	●	●	●	●
	午後 13:30~16:30 (診療開始 13:30~) ●予約制	●	●	●	●	●

※ I … 小児科
発達障害で受診希望の場合は事前予約要
※ II … 外科
予約制 11:00~診療開始
※ III … 外科
第1・3はストマ外来を実施
※ V … 眼科
毎月最終木曜日の午後は休診
※ VI … 内科
予約制 10:00~15:00診察
※ VII … 小児科 予約時間 13:30~15:00
※歯科: 診察希望時には、事前連絡要

2020年4月1日改定

交通アクセス



交通機関をご利用される方へ

JR「新倉敷駅」より、タクシーで約15分。
JR「倉敷駅」より、タクシーで約25分。

自家用車をご利用される方へ

山陽自動車道「玉島IC」より、約20分。
※水玉ブリッジラインをご利用の方は最初の信号をUターン右折して側道に入ってください。

高梁川からの経路

- 霞橋を目標にこられる場合
霞橋を渡って水島方面へ左折、鶴の浦西側（高梁川堤防の下）の道を南下してください。
- 水玉ブリッジラインからこられる場合
水玉ブリッジライン水島大橋を出て、信号を右折して側道に入り、右折して下をくぐり抜けると右手正面です。*水玉ブリッジライン無料

患者さんの権利と患者さんへのお願い

患者さんの権利

当院では、患者さんの相互理解により医療が行われるよう、患者さんの権利を尊重します。

- ひとりの人間として、その人格・価値観は尊重されます。
- 医療を平等に受けることができます。
- 説明と十分な理解による同意をもとに、適切な医療を選ぶことができます。
- 当院で行われたご自身の診療に関する情報の提供を受けることができます。
- 医療の過程で得られた個人情報は厳守され、患者さんの承諾なしには開示いたしません。

患者さんへのお願い

私たちが良質で安全かつ効率的な医療を提供するために次のことをお願いします。

- ご自身の健康に関する正しい情報の提供
 - ご自身の医療への積極的な参加
 - ご自身の治療に必要な診療上のルールの遵守
 - 他の患者さんの診療に支障をきたさないためのご協力
- 患者さんが、私たちと力を合せ、治療に専念され、少しでも早く回復されますよう心よりお祈り申し上げます。



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院リバーサイド

〒712-8007 岡山県倉敷市鶴の浦2丁目6番11号
TEL : 086-448-1111 FAX : 086-448-1251
発行者: 土井 修 編集責任者: 山下 伸治



倉敷中央病院リバーサイドのホームページはコチラ
<https://www.kchnet.or.jp/krh/>
是非、アクセスして役に立つ情報をGetして下さい。